

駐日ルーマニア大使と地球惑星科学専攻の研究グループが懇談

2026年8月5日、Ovidiu Alexandru Raetchi（オヴィディウ・アレクサンドル・ラエツキ）駐日ルーマニア大使が京都大学を訪問し、地球惑星科学専攻の Bogdan Enescu（ボグダン・エネスク）准教授および研究グループ・メンバーと懇談しました。

非公式な懇談の中で、地球科学分野における研究・教育、防災、京都大学での研究生活、さらに日本とルーマニアの今後の学術交流の可能性などについて意見交換が行われました。また、大使と研究グループの若手メンバーとの間でも活発な交流が行われました。

今回の懇談は、日本とルーマニアの学術コミュニティのつながりを深める貴重な機会となりました。このような交流を通じて、ルーマニアをはじめとする海外の学生が、京都大学での研究や留学にさらに関心を持つきっかけとなることが期待されます。



写真1：駐日ルーマニア大使と研究グループ・メンバーとの集合写真

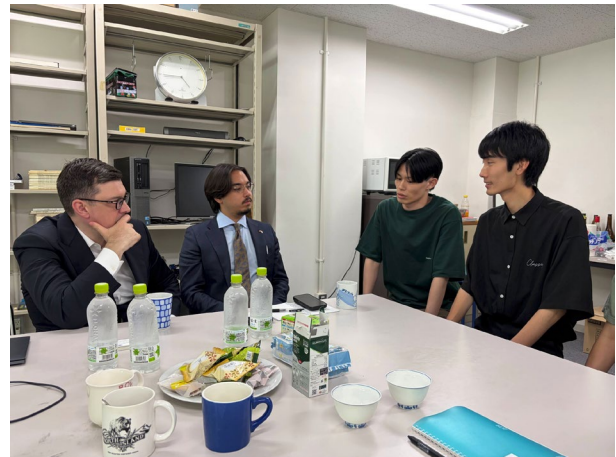


写真2：駐日ルーマニア大使と研究グループ・メンバーとの懇談の様子